

令和 8 年 6 月 18 日開催 和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者 大槻教育長、深堀職務代理者、酉家委員、小谷委員、木村委員、網代委員

教育委員会事務局 鍛冶教育次長、山村部長、上田教育指導監、奥次長、永井室長、隅埜課長、
福元主幹

	議題	要旨
案件 1	ICT 環境整備について	○校務用端末 ・現在使用中の校務用端末は令和 5 年 4 月に買い取り方式で購入し、同年 7 月から各学校へ配布・運用を開始 ・次回の更新は、バッテリー等の損耗状況や予備機の数等を踏まえ、令和 10 年 4 月に実施予定。現在使用中の端末については、有価売却を含めた処分を検討 ○校務支援システム ・現在システムは、令和 5 年 7 月から運用開始 ・新たな校務支援システムの導入に向けて、令和 8 年度から大阪府教育委員会主導のもと、「次世代校務 DX 環境の整備」として共同調達を実施予定。令和 8、9 年に仕様書を検討、令和 9 年に予算要求、令和 10 年度にシステムを構築、令和 11 年から共同調達した校務支援システムの利用を開始する予定 ・現在の契約は令和 9 年度までとなっているため、1 年間の延長を行う必要がある。 ・共同調達に参加しなかった場合、令和 10 年度から校務支援システムを独自で設計する必要があり、国の補助要件である「共同調達に参加する」ことを満たさず補助金の活用ができなくなることから、共同調達に参加する予定 ○ネットワーク ・現行の契約は令和 9 年度までのため、令和 10 年度に向けて新たな契約を検討 ・現在の課題は、全ての学校で文科省が推奨するネットワーク帯域を満たせていないこと(推奨帯域の約 3 分の 1 程度) ・現在の環境でもネットワークの使用は可能だが、十分な帯域を満たすべく、令和 9 年度中にネットワークを増強予定。 ・令和 8 年度中に状況を把握するとともに、次期更改に向けて仕様を検討し、令和 9 年度予算要求予定。 ●委員の意見 ・システムトラブル等はないか。 →現在のところ確認されていないが、今後新たなシステム導入を進めるにあたり、対策を検討する必要がある。 ・令和 8 年度に行う調査について説明してほしい。 →学校数を限定して、令和 9 年度に導入予定のネットワークを試用予定。接続方式や回線を変更することで、ネットワークの帯域改善が可能か確認。

案件 2	学力向上について	○AI ドリルのデモ操作をモニター投影 ○校務用端末で AI ドリルを試用(教育委員) ●委員の意見 ・全国学力学習状況調査の中で、児童生徒が解きにくい問題はどのようなものか。また、AI ドリルを用いて対策をすることはできないのか。 →問題文から意図を読み解き、自分で計算式を組み立てるなどの複合的な問題の正答率が低い。AI ドリルで出題される問題は穴埋めや一問一答の形式が多いので、知識は定着するが、複合的な問題を解くことへの直接的な対策にはならない。 ・AI ドリルは定期テスト対策として有効か。 →AI ドリルの問題と類似したものが出題されることもあり、対策になる。 ・AI ドリルは学校で使用している教科書に対応しているのか。 →対応している。AI ドリルで単元テストを作る取組みをしている学校もある。 ・AI ドリルを用いた学習は、基礎学力を身に着けたい児童生徒には有用だが、応用力を培うことを目的とする児童生徒には適切でないと思う。 ・児童生徒の AI ドリルの活用状況を先生は確認できるか。 →確認できる。 ・学校で応用問題を解いて、苦手だと感じた箇所や分野を AI ドリルで復習する等、児童生徒が自身で目標を決めて活用することが望ましい。
------	----------	--